

公募申請R7-2：道路建設における調整池を活用した水上太陽光発電の導入

該当する募集テーマ：⑤道路空間内への発電及び給電システム導入による道路附属物・モビリティ関連施設との効果的な連携に関する社会実験

提 案 団 体	三井住友建設株式会社		
道 路 の 課 題	・道路空間における更なる再生可能エネルギーの促進、脱炭素化 ・道路空間を「モビリティ空間からパブリックスペースへ」という考え方に転換		
解 決 策 (アイデア)	①SA、PA、道の駅等の施設に近接する調整池に水上太陽光発電施設を導入 ②非常用電源として活用することで地域防災拠点の役割を担う		
効 果	①施設の再エネ化、低炭素化 ②地域のレジリエンス強化	道路政策 ビジョン との関連	「2040年、道路の景色が変わる」 ⑧災害から人と暮らしを守る道路、⑨道路交通の低炭素化、⑩道路ネットワークの長寿命化 「WISENET（ワイズネット）2050・政策集」 低炭素で持続可能な道路の実現、道路空間の再配分、自然再興（ネイチャーポジティブ）の実現
実 績 等	・農業用ため池や貯水池等における水上太陽光発電の実績 ・件数：8件、規模：14.4MW		

提案のイメージ

概要

SA、PA、道の駅等に近接する調整池に太陽光発電を設置し各施設に電気を供給する



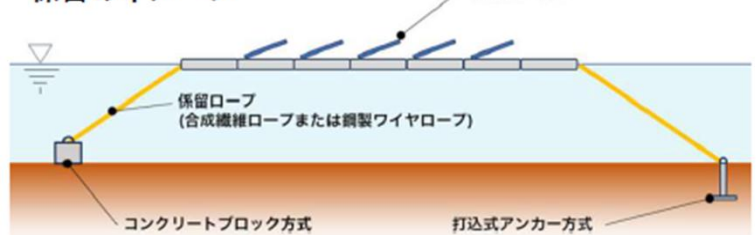
効果

- ①施設の再エネ化、低炭素化が図れる
- ②災害時は非常用電源として活用できる

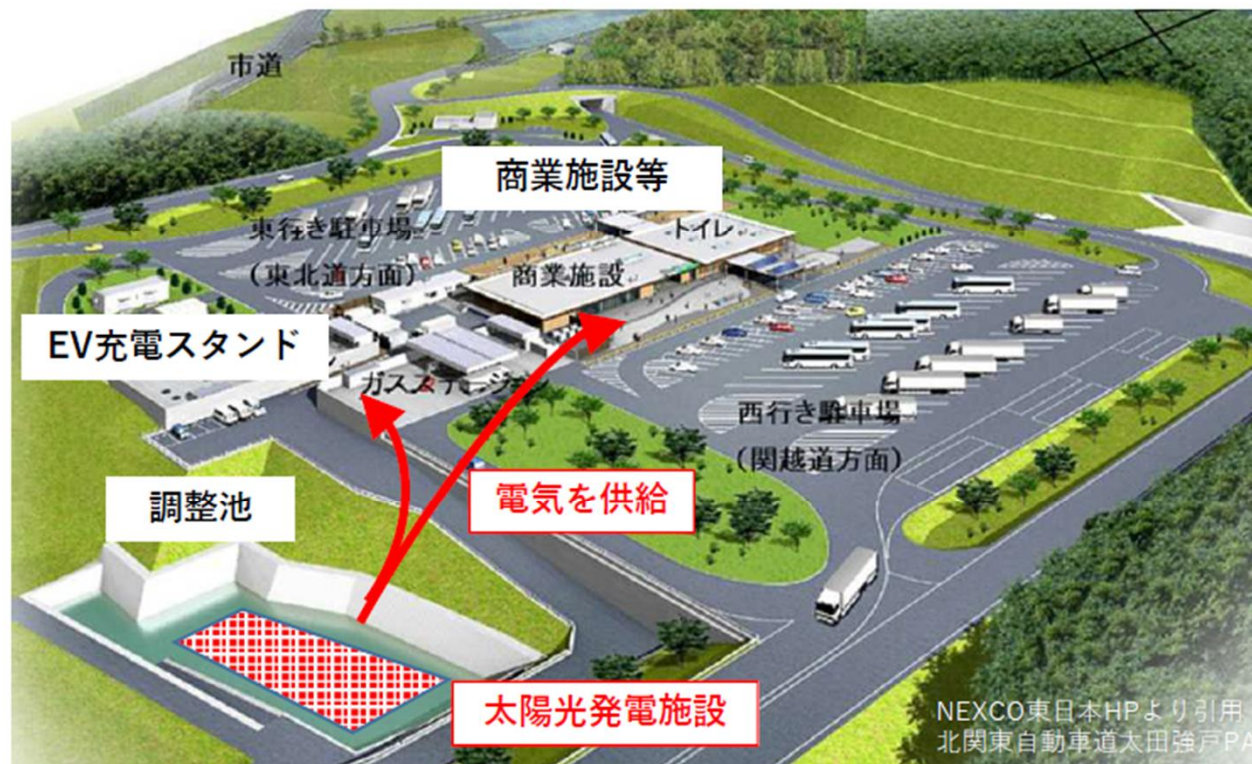
浮体のイメージ写真
 ・HDPEのフロート
 ・太陽光パネル



係留のイメージ



提案の全体イメージ



NEXCO東日本HPより引用
 北関東自動車道太田強戸PA